

## 施設整備計画

都道府県名	神奈川県
市町村名	相模原市

1 計画名称 相模原市公立学校等施設整備計画

2 計画作成主体 相模原市

3 計画期間 平成 27 年度

4 域内の公立の義務教育諸学校等施設の整備状況について

保有校数及び耐震化の状況等(H27.4.1現在)

保有校等	域内全棟数 (a)	(a)のうちS56年以前に建設された棟			
		(b)	耐震診断 実施率	うち耐震性 のある棟	うち耐震性 の無い棟
小学校 72 校	291 棟	236 棟	100 %	236 棟	0 棟
中学校 37 校	174 棟	111 棟	100 %	111 棟	0 棟
高等学校 0 校	0 棟	0 棟	0 %	0 棟	0 棟
特別支援学校 0 校	0 棟	0 棟	0 %	0 棟	0 棟
幼稚園 3 校	3 棟	1 棟	100 %	1 棟	0 棟
学校給食施設					
単独校調理場 54 箇所					
共同調理場 3 箇所					
スポーツ施設					
学校水泳プール 101 箇所					
学校武道場 31 箇所					
社会体育施設 40 箇所					

その他、特記すべき状況・課題

本市は、平成18年、19年の津久井郡4町との合併を経て、多様な都市機能をもった中心市街地と県民の水がめである相模湖・津久井湖・宮ヶ瀬湖や自然公園などの豊かな自然を有する人口70万を超える大きな都市となり、平成22年4月1日に全国で19番目の政令指定都市となりました。合併により市域が市街地から山間部と広域になったため、小規模校から大規模校と大小様々な規模の学校が存在しています。学校施設については、人口急増期に建築した校舎の老朽化が進んだため、大規模改造を中心に施設整備を進めるとともに、発災時における児童、生徒等の安全を確保するため、施設の耐震化及び防災機能の強化を図っています。山間部の学校においては児童数の減少が続いているため、その対策も今後の課題となっています。

5 公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する目標について

地震、津波等の災害に備えるための整備

平成27年度までの工事完了が目標とされる吊り天井撤去等の工事について、屋内運動場(小学校1棟、中学校1棟)、武道場(中学校9棟)において実施し、避難所建物としての安全対策を実施します。また、災害時の防災機能強化を図るため、屋外便所を小学校5校、中学校1校に整備し、老朽化した受水槽の耐震改修(緊急遮断弁取付含む)を小学1校、中学校4校で実施します。その他、自家用発電設備を小学校8校(給食施設1校含む)、中学校1校で実施します。

学校区分	耐震性の無い棟		計画期間中に耐震化を図る棟数			耐震化事業実施による耐震化率の目標(%)	
	棟	うち、Is値0.3未満等の棟数	棟	うち補強	うち改築	(現状)	(目標)
小学校	棟	棟	棟	棟	棟		
中学校	棟	棟	棟	棟	棟		
高等学校	棟	棟	棟	棟	棟		
特別支援学校	棟	棟	棟	棟	棟		
幼稚園	棟	棟	棟	棟	棟		

防犯対策など安全性の確保を図る整備

教育環境の質的な向上を図る整備

公共下水道が整備された区域の学校への公共下水道の切替工事を、小学校1校で実施します。また、大規模改造事業として屋内運動場の老朽改修工事を小学校2校、中学校5校で実施し、教育環境の改善を図ります。

施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

6 5の目標を達成するために必要な整備事業について

(様式2、3)

7 5の目標に対して行う事後評価について

計画期間終了後、目標達成の度合いを計測し評価結果等を公表する予定です。